

いで 議会だより

第60号

平成30年(2018年)2月発行

発行 井手町議会
編集 議会広報編集委員会
京都府綴喜郡井手町井手南玉水67
☎ 0774-82-6172 (直通)
<http://www.town.ide.kyoto.jp/>

平成30年 井手町成人式 会場

祝電 及び
メッセージ



華やかな新成人

平成28年度決算	2P
12月定例会で決まった事	5P
管外視察研修報告	6P
町政を問う	7P
井手町歴史散歩	14P



平成30年 消防出初式

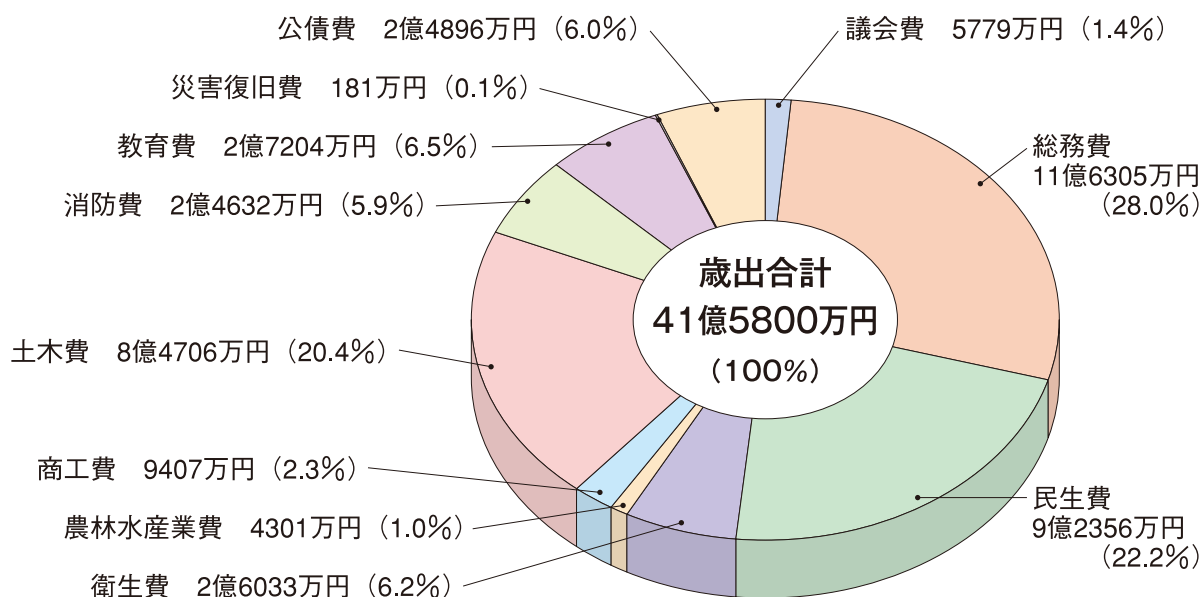
一般会計

平成28年度決算を認定

実質収支は 約3億7033万円の黒字

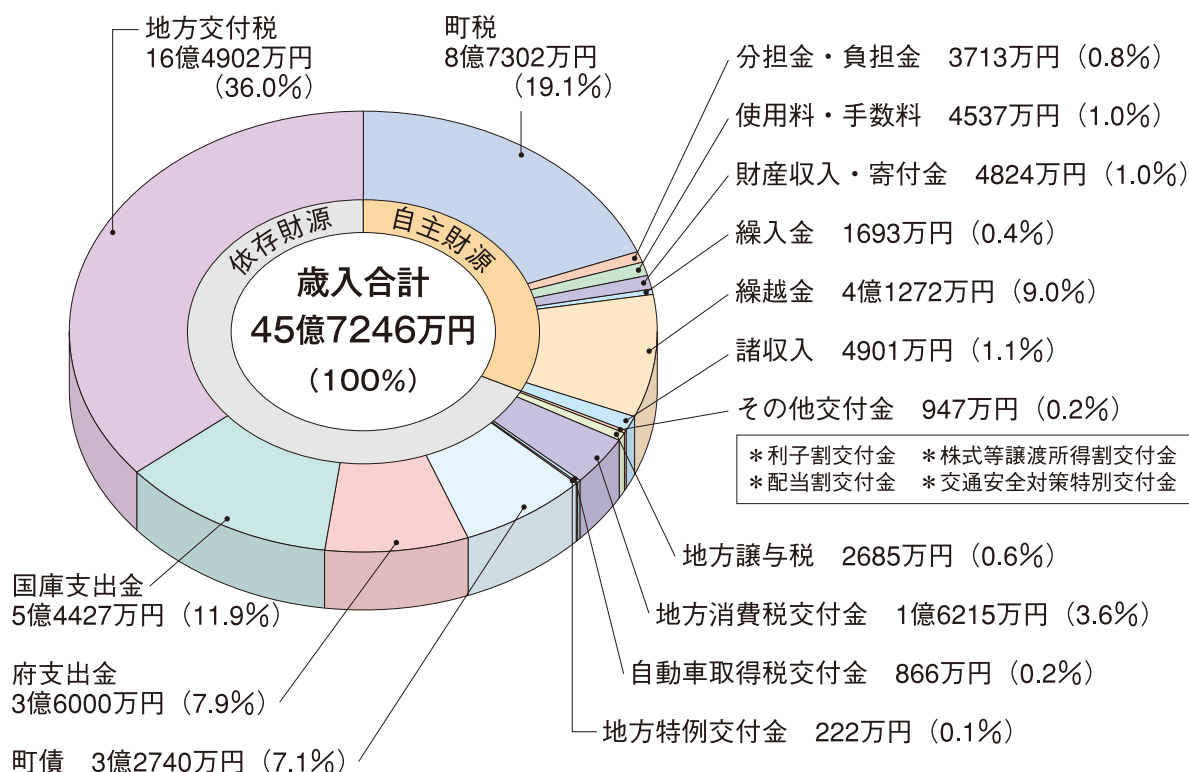
歳出

前年度より 約5489万円の増加



歳入

前年度より 約5663万円の増加



JR山城多賀駅にエレベーター設置

実施した主な事業

住民生活の充実に

- JR奈良線高速化・複線化第二期事業費補助金 2650万円
- JR山城多賀駅エレベーター整備に 1億7878万円
- 情報セキュリティ強化対策事業に(繰越) 2687万円
- 下排水路改修に 5927万円
- 町道改良(8箇所)に 2億 873万円

安心・安全・環境保護に

- 交通安全施設整備に 51万円
- LED照明整備に 266万円
- 街灯LED整備に 437万円
- 消防団資機材購入に 563万円
- 防火水槽設置(2ヶ所)に 1738万円
- 町営住宅長寿命化改修に 7742万円
- 合敷ポンプ場施設整備に 502万円

福祉・教育の向上に

- 老人福祉センター改修に 64万円
- 多賀保育園冷暖房機購入に 120万円
- いづみ保育園改修に 1226万円
- 保健センター改修に 1111万円
- 教育情報化推進(デジタル教科書)に 114万円
- 給食センター施設整備に 457万円

まちの活性化のために

- 野外活動センター施設整備に 183万円
- 日本遺産観光案内サイン整備に 255万円
- まちづくりセンター施設整備に 202万円
- JR玉水駅周辺整備に 1億2133万円
- JR玉水駅西交通広場整備に 430万円



JR山城多賀駅のエレベーター



合敷ポンプ場



日本遺産観光案内サイン

賛成討論

一般会計の財政状況は府内26市町村の中で最も良い数値であり高く評価する。歳入では、町税が減少しているが、税機構と連携し徴収努力を行ない、国や府の補助制度による財政支援などで歳入確保に努力している。歳出では、情報セキュリティ強化対策事業、JR奈良線高速化・複線化第二期事業費補助金、庁舎等整備基金の積み立て、従来から実施している事業を継続、チャイルドシート等の購入費補助、いづみ保育園改修、まちづくりセンターや、野外活動センターの施設整備、JR山城多賀駅エレベーター整備やJR玉水駅周辺整備、町道3号線道路改良、合敷ポンプ場施設整備などを実施し、実質収支額は約3億7033万円の黒字となっている。

討論

一般会計決算賛成多数で可決

反対討論

一般会計では、各基金を積み上げ総額71億円を超え、異常なため込みである。庁舎等整備基金は18億円となり、目標額を定めず積み立てるのは異常なことである。非正規職員が増え、役場が官製ワーキングプアを生んでいる。臨時職員が担っている業務は正規職員が対応するべきではないか検証が必要。臨時福祉給付金は対象者全員に支給するよう努めなければならない。老朽化した多賀地区の町営住宅を放置せず、借り上げ方式も含めて住宅を設置すべきである。山城多賀駅のエレベーター設置は喜ばれているが買い物弱者、通院難民の方々にコミュニティーバスや高齢者タクシー券などの支援が必要。国保会計は低所得の加入者が多ければ互助組織とはならない。

国保会計が赤字に

特別会計決算

会 計 別	歳 入	歳 出	差 引 額
国民健康保険	12億 883万円		192万円
	12億 1075万円		
多賀地区簡易水道事業	4541万円		
	4393万円	148万円	
後期高齢者医療	9636万円		
	9371万円	265万円	
介護保険	8億 2372万円		
	7億 7386万円	4986万円	
公共下水道事業	4億 274万円		
	3億 9267万円	1007万円	
多賀財産区	254万円		
	214万円	40万円	

事業会計決算

会 計 別	収 益	費 用	差 引 額
井手町水道事業	1億 2983万円		
	1億 1486万円	1497万円	

決算特別委員会報告

委員長 古川 昭 義

平成28年度井手町一般会計、特別会計「国民健康保険、多賀地区簡易水道、後期高齢者医療、介護保険、公共下水道」歳入歳出決算認定の件、平成28年度井手町水道事業会計決算認定の件、並びに、平成28年度井手町多賀財産区特別会計歳入歳出決算認定の件の3件につきまして、閉会中の継続審査を行いました。いずれも井手町における平成28年度の予算執行実績や行政実績並びに行政全般について執行されました決算に関するものです。

決算特別委員会は、10月2日・3日の2日間には、慎重かつ熱心に審査が行われました。

決算審査では、一般会計の歳出の部から各款別に質疑を行った後に、歳入の部の質疑を行い、特別会計につきましては、各会計別に歳入歳出全般にわたり質疑を行い、最後に総括質疑を行いました。

質疑並びに討論の終了後に採決を行ったところ、平成28年度井手町一般会計、特別会計「国民健康保険、多賀地区簡易水道、後期高齢者医療、介護保険、公共下水道」歳入歳出決算認定の件につきましては、賛成多数をもって、平成28年度井手町水道事業会計決算認定の件、平成28年度井手町多賀財産区特別会計歳入歳出決算認定の2件については、賛成全員をもちまして、認定すべきものと決定しました。

12月議会で 決まったこと

職員の給与、期末・勤勉手当を改定

農地利用最適化推進委員を新設

12月15日から22日まで開催された12月定例会では、平成28年度的一般会計・特別会計決算の認定など、議案10件が議決され、専決処分の報告2件、諮問1件がありました。

条例制定

●農業委員等の定数に関する条例

改正農業委員会法に基づき、農業委員10人、農地利用最適化推進委員2人と、定数を定めるものです。

新設の農地利用最適化推進委員は、農業委員と協力し、農地の借り手と

のマッチングなどを担当します。

いずれも公募や農業団体の推薦を実施します。

(賛成全員)

条例改正

●職員給与等に関する条例

人事院勧告に基づき、職員給与を0.15%、期

3300万円などが主な内容です。

(賛成全員)

●国民健康保険

特別会計 (第3回)

前年度の精算により、保険給付費を217万円追加するものです。

(賛成全員)

●介護保険特別会計

(第2回)

職員給与・手当の改定にともない、38万円を追加するものです。

(賛成全員)

その他

●一般会計

(第5回)

総額4416万円を追加するもので、職員給与・手当の改定のほか、上井手公民館の改修補助に300万円、空き家再生支援事業に250万円、町道の災害復旧事業に

●町営土地改良事業

29年10月の台風21号豪雨により被災した、農業用施設の復旧工事を実施します。

内容は浜・鐘付揚水機の復旧で、受益者の負担はありません。

諮問

●人権擁護委員

嶋田 昌和氏



井手山田

(賛成全員)

田中 義孝氏



井手浜田

(賛成全員)

中村 育子氏



井手栢ノ木
(賛成全員)

専決処分

平成29年度

一般会計

●補正予算 (第3回)

衆議院議員総選挙の費用として600万円を追加するものです。

(賛成全員)

●補正予算 (第4回)

10月の台風21号による町道35号線他の災害復旧事業の設計費として、275万円を追加するものです。

(賛成全員)

意見書

●米軍ヘリコプターの窓落下事故に関する意見書

提出者

谷田 みさお 議員
(賛成少数)

管外視察研修報告

産業厚生常任委員会

委員長 岡田久雄

最高裁判所

10月25日に「地方裁判所・家庭裁判所各支部設置」について管外視察研修を行ないました。

現在、京都府南部地域は約56万人と府全体の約21%の人口を抱えています。地方裁判所や家庭裁判所の支部はありますが、簡易裁判所では扱える事件に限りがあり、京都府家庭裁判所本庁や京都家庭裁判所本庁へは長時間をかけて行く必要があります。

高齢化が進み、移動手段を公共交通機関に頼らざるを得ない住民にとって大変厳しいものがあります。誰もが裁判を受ける

権利を保障するため、

京都府地方裁判所や京都家庭裁判所の支部を南部地域に設置するために、私たち議員ができることは何なのかについて勉強、意見交換させていただきました。

最高裁判所事務総局の担当者より、地方裁判所や最高裁判所の概要や役割について説明があり、各議員よりの質問に対して、今までの裁判の判例を通して丁寧に解りやすく解説がありました。



京都府地方裁判所や京都家庭裁判所の京都南部地域での支部設置について、大変に難しいものがあるとのことでした。

また、成年後見制度の利用促進についての話もありました。

最高裁判所の大法廷を見学し大変有意義な研修を終えることができました。

国立国会図書館

総務文教常任委員会

委員長 西島寛道

10月26日、東京国立国会図書館で管外視察研修を行いました。

国会図書館は日本の国会議員の調査研究、行政、並びに日本国民のために奉仕する図書館で、納本制度に基づき、国内で出版されたすべての出版物を収集・保存する日本唯一の法定納本図書館です。建物は、本館6階・新館4階建てで、とても広く、障害者や高齢者にもやさしいバリアフリー整備がなされていました。

地下には国内で毎日発行される新聞をはじめ、雑誌・小説・漫画までありとあらゆる書物が集められ保管され

ていて、その膨大な量には驚かされました。職員の方々は日々、その膨大な書物を後世

に残すため、補修や整備作業をされていると伺い大変感服しました。関西では、精華町に国立国会図書館関西館があり、どなたでも利用できるの皆さんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



町政を問う

村田 忠文 議員

- ◆ 山城多賀駅前へ進出予定の商業施設について

谷田 利一 議員

- ◆ 浸水対策について

木村 武壽 議員

- ◆ 今年の災害による土木施設の復旧工事について
- ◆ 玉水駅の巨石の対応及び工事の進捗状況について

岡田 久雄 議員

- ◆ 京都府立特別支援学校建設の進捗状況について
- ◆ 成年後見制度の利用促進について
- ◆ 国民健康保険広域化の影響について

岩田 剛 議員

- ◆ 防災対策と消防団員の確保について
- ◆ 白坂地区工業団地の工場誘致状況について
- ◆ JR奈良線複線化工事の進捗状況について

谷田 みさお 議員

- ◆ 内水排除対策について
- ◆ 新生児聴覚検査の体制について
- ◆ 非正規職員の処遇改善について

中坊 陽 議員

- ◆ シルバー人材センター設立の考えについて
- ◆ 上玉川橋改良工事の進捗状況について

商業施設の進出予定は

村田 忠文 議員



近年、全国的にも若い物弱者が増えている。

町内においても少子高齢化、人口減少を背景に、小売店は経営者の高齢化と後継者不足の問題に直面しており、商店街、繁栄会は衰退の傾向にある。

一方交通弱者の生活環境インフラの問題はますます増加する。

山城多賀駅前において(株)プラントが商業施設の進出に向け、地権者の同意を得るため協力依頼に回っていると聞く。

住民は買い物環境の向上に期待している反面、大型商業施設の進出により地域の中小小売業者が

衰退する心配もある。

地域生活インフラの課題に取り組むうえで、住民のニーズに向き合い、民による公共の環境整備も必要と思う。

①(株)プラントの規模・業種は。

②(株)プラントから町に説明があったのか。

③町は商業施設進出についてどのように考えているか。

④現在の進捗状況と今後の見通しは。

⑤既存の商店街に対する支援の考えは。

汐見町長

建設
中村課長

前向きに誘致を検討

①東証第一部上場企業で資本金約13億6000万円。

北陸地方を中心に全国24店舗を展開する大型商業施設である。

②商業施設が立地することとは可能であるか問い合わせがあり「土地所有者の意向が第一である。協力が得られた段階で具体的に相談に乗

っている」と答えた。

その後、土地所有者の協力が得られたとの説明があった。

町としては法手続きを行うのに必要な事前協議のため図面などの資料提示を求めた。

③大型商業施設が進出することは、住民の利便性向上や人口減少対策に大きく寄与するので、前向きに誘致を検討したい。

④山城多賀駅周辺地域は、商業的土地利用を行う地域と位置づけている。府との協議を進め、農振農用地除外の法手続きを進める。

開業は順調に進んでも約4年後になる。

⑤大型商業施設の創業により既存商店等への影響が懸念されることがから、継続的に支援できる対策を考える。

大型商業施設の建設予定地





谷田 利一 議員

川久保川の浸水対策は

Q 平成27年に川久保川

の排水と逆流防止のため、排水管を国道24号に横断設置していただき、移動式ポンプで排水できるようになり安心したが、29年10月の台風21号で被害が発生し、問題点が浮き彫りとなった。

①台風までに消防本部による訓練が実施されたが、作業に手間取ったと聞いている。実際、どのくらいの時間で移動式ポンプが設置できたのか。

②今回の台風では、府が

らの協力で排水作業を行なったが、今後、地元

消防団による作業は発生しないのか。

地元団員は、移動式ポンプの設置すら知らず、れておらず訓練も未実施である。

実際に水を使った訓練が必要と考えるが、今後の予定は。

③急な法面に重いホースを担ぎ上げての作業は困難であり、格納庫を上のように設置できないか。

横断排水管を川久保川



国道24号を横断する排水パイプ

汐見町長

安心・安全に努める

A 木津川の水位上昇に

より樋門が閉鎖され、川久保川の水位が上昇してきたことから府に対し排

水ポンプ車の出動を要請し、27時間にわたる排水作業を実施した。

冠水被害が発生した平

付近まで延長設置できないか。

④ポンプの排水能力を最大限発揮するため、樋門の電源を利用出来ないか。

⑤設置された排水設備が、最大限生かせるように改修・対策をすべきである。

町長の総合的な見解は。

成25年と比較して、雨量はあまり変わらないが、

樋門の開鎖時間は、今回、2.4倍の約31時間と長時間であったにもかかわらず、冠水範囲や被害の減少は排水ポンプ車の効果によるものと考ええる。

総務課長
協本

国・府に要望

しかし、今回の作業で、課題も見えてきた。

ただちに課題解決のため、国・府に要望活動を行い、前向きな回答を得ている。

今後も住民の安心・安全に努める。

A

①所要時間は約30分。直径20cm、延長100m

のホースを2本設置した。

②排水ポンプ車の操作やホースの接続は専門業者が行い、地元消防団は、情報伝達や交通整理を行った。

今後、どのような訓練が効果的かを検討する。

③国からは、堤防下でホースが接続できるようにパイプを延長し、通路を舗装し、車両通行

が可能となるよう整備すると回答を得た。

④排水ポンプ車には、ポンプの台数分の電源が搭載されており、樋門からの電源は必要ない。

⑤国・府に対して要望活動を行い前向きな回答を得た。

府は、排水ポンプ車の出動要請が重複した場合も必要な箇所に出勤できるよう、当該車両の増車を予算化すると回答を得た。



台風21号により冠水した農地

Q 平成29年の夏は台風が頻発し、8月だけで4個も上陸し過去54年ぶりの多さになった。

本町でも台風の影響により、道路、河川等で多くの被害が発生したが、災害による土木施設の復旧工事の状況について問う。

台風災害の復旧工事は

木村 武 壽 議員



建設
中村課長

速やかに準備を進行中

A 台風被害は、10月21日から23日に上陸した台風21号によるもので、土木施設災害(補助分)が3ヶ所で、町道35号線の路肩崩壊と法面崩壊2ヶ所、町道35-127号線の法面崩壊1ヶ所。

町単独分は町道35号線の道路の陥没と路面の深

掘れの2ヶ所となっている。

補助分の3ヶ所は現在国の災害査定を受けるための準備を行っている。

町単独分の2ヶ所については、12月議会で補正予算案が可決になれば速やかに発注したい。

水害遺構の巨石と府道工事は

Q JR玉水駅の橋上化新築工事の完成が待ち遠しいとの住民の声を聴いている。

昭和28年の大水害の置き土産となった巨石の処置はどのようなのかという住民の声も多い。

6月議会の一般質問で「地元住民の意見を尊重

し、撤去せず別の場所に移設する方向で協議したい」との答弁があったが、

その後の進捗状況について問う。

また、玉水駅橋上化新築工事と府道上粕城陽線の工事の進捗状況について問う。

建設
中村課長

巨石はホーム上に移設予定

A 水害遺構の巨石は、水駅下りホームで引き続き保存する」との回答を得た。



ホーム上での保存が決った巨石

玉水駅は、平成30年12月に新駅舎と自由通路の供用を開始する。

その後、仮駅舎と跨線橋の撤去工事、ホームの上屋増築工事を実施、31年秋頃完成予定。

建設
中村課長

府道工事は平成31年度末完了

A 府道上粕城陽線は、府からは、29年度は北垣内踏切から南側の水路工事を発注すると聞いている。事業の完了予定は、31年度末と聞いている。



岡田 久雄 議員

特別支援学校の進捗状況は

Q 現在、府立特別支援

学校の建設のための周辺
公共工事が進行中である
が、次の点について問う。

①学校の規模、概要と工
事開始の時期は。

②生徒の通学範囲、生徒
数、送迎バスは。

③本町の生徒と支援学校
の生徒の交流は。

④工事車両の進入道路は。

⑤新四郎山グラウンド横
の道路拡幅等の工事の
目的と工事期間は。

教育
中島次長
建設
中村課長

33年度開校の予定

A 府教育委員会による

中に着工予定。

①敷地面積は約2万2千
㎡、延べ床面積は1万
2千㎡、校舎は鉄筋コ
ンクリート造り4階建、

地盤が軟弱なため、造
成計画が変更され、開
校は33年度になると聞
いている。

体育館は同一階建、
建設工事は平成31年度

②新設の支援学校には、
南山城支援学校の児
童・生徒のうち、綴喜



拡幅工事中の町道3号線

郡、京田辺市を中心と
した通学範囲で検討中。
送迎バスは、生徒数最
大200名程度に対応
できるよう現在検討中。
③交流事業として、現在
夏の地域学校、クリス
マス会、卒業・進級を
祝う会等を実施してい
る。

④工事車両は、主として
国道24号から府道と東
井手線、町道3号線を
利用する。
9月に沿線住民向けの
説明会を実施済み。
⑤山城勤労者福祉会館か
ら新四郎山グラウンド
までは幅員9.5m、
2車線片側歩道に、新
四郎山グラウンドから
府道上粕城陽線までは、
幅員6.5mに拡幅する。

進捗状況
は、町道3
号線延長
880mの
うち530
mを発注済
み。町道29
号線375
mで、土工
は全部発注
済み。残工
事として擁
壁、側溝、
舗装工があ
る。上下水
道工事は29
年に着手す
る。

国保広域化の影響は

Q 平成30年度から国保

は都道府県が保険者とな
り、財政運営を行うこと
となっているが次の3点
を問う。

①30年度の納付金と保険
料率の計算方法は。

②計算の結果、保険税が
増額となった場合、一
般会計から法定外繰り
入れが行われるのか。

③国の保険者努力支援制
度交付金とはどんな制
度なのか。

汐見町長
保健医療
中谷課長

30年度は 負担を増やさない

A

①30年度の納付金や標準
保険料率の算定は、府
が医療給付費等の見込
を立て、市町村ごとの
標準保険料率を算定す
ることとなる。

②本町は無職や収入の少
ない方が多く、府より
示されている保険税率
で課税すれば、今以上
に被保険者の税負担が
増加するので、30年度

の不足分は一般会計か
らの法定外繰り入れに
より対応したい。

③医療費適正化への取り
組み、健康保険が抱え
る課題への対応等を通
じ、保険者機能を発揮
しやすくする観点から
新しく導入されたもの
で、努力を行う自治体
に対し交付されるもの
である。

※「成年後見制度の利用促進について」は
省略しました。



岩田 剛 議員

消防団の現状と今後は

Q 台風21号の大雨で被害が出た。被害防止のための内水排除施設の整備状況は。

女性消防団創設の考えは。災害状況把握のためにドローンを導入してはどうか。

災害発生時に即時に対応する消防団員の存在は大変大きい。若手団員の確保が今後困難になると予想される。

団員の確保対策、現在の年齢構成、団員候補となる18歳男性人口の今後の見込み数を問う。



平成30年 新春の消防出初式

建設
中村課長
総務
脇本課長

団員確保に努める

A 町内の4横断は、困難はあったがすべて改修済み。女性消防団は現在考えていない。

支部それぞれで団員確保

保に苦労してもらっているが、確保に努めたい。ドローンについては、現在保有している市町村の使用状況など調査したい。

町内男性の年代別
消防団員数・構成比率

20代	46人	11.89%
30代	90人	22.90%
40代	85人	16.97%

18才男性の推定人口

現在	49人
5年後	36人
10年後	27人

白坂工業団地の進捗は

Q 白坂工業団地は、町の活性化はもちろん、人口増加、税收確保のための大きなプロジェクトである。

京都南部の物流拠点として大きく発展が見込める地域でもある。

- ①造成工事の完了時期は。
- ②井手町域の進出企業と進出希望企業数は。
- ③地元雇用者数と将来の見込み人数は。
- ④税收増加の見込み額は。
- ⑤転入者増加のための住宅地造成は。

建設
中村課長
税務
乾課長

3社が稼働済

A ①井手町域の造成完了

了は12月末。全体とし

奈良線複線化工事の進捗は

- ① 29年度までの税收増は1700万円。今後数社の進出が見込め、地元雇用が進めば個人住民税の増加も見込める。
- ② 3社がすでに稼働。2区画で進出企業が決定。残り2区画も近々決定の予定。
- ③ 現在37人で、将来的な見込みは150人。
- ④ 29年度までの税收増は1700万円。今後数社の進出が見込め、地元雇用が進めば個人住民税の増加も見込める。
- ⑤ 宇治木津線の新設で住宅開発も進むと考える。

Q ③複線化工事完了による経済効果は。

- ① 複線化工事の完了予定時期は。
- ② 玉水駅舎の建て替え工事の完了時期は。
- ④ 利便性向上による転入者や観光客の増加は何人程度見込めるか。

財政
企画課長
企
画
課
長

町内の複線化は32年完了予定

見込まれる。

- ① 第一期複線化工事完了は、35年3月。井手町内の複線化区間の完了は32年3月完成を予定。
- ② 玉水駅舎は31年秋ごろ完成予定。
- ③ 複線化完了で運行ダイヤがより安定するため、JR奈良線への信頼性が向上し、経済効果が
- ④ 転入者や観光客の増加は具体的数字を見込むのは難しいが、複線化だけでなく、白坂への企業進出による雇用拡大や、宇治木津線完成による開発適地拡大で人口減少に歯止めをかけた。

- ③国や府に排
か。
が支援が受
けられるの
で故障した
源も水浸し
②揚水機の電
①農業被害は
出た。
水機の被害も
出た。
が冠水し、揚
水機の被害も
出た。
行止めとなり、
城陽線は、通
水、府道上狛
用水路も溢
出た。



台風21号により冠水した揚水機場

台風21号の農業被害は

谷田 みさお 議員



Q 10月21日からの台風

21号によって町内にさま

ざまな被害が

出た。

水機場の整備を求める
べきでは。

建設
中村課長

農作物に大きな
被害はなかった

A

①府農業共済組合山城支

所に確認したが農業被
害はなかった。

②揚水機の制御盤等の被

害は、災害査定を受け
採択された。

③府や国に排水機場整備
のための制度はない。

新生児聴覚検査の体制は

Q

生まれつき聴覚に問
題のある赤ちゃんは

1000人に1〜2人と

言われている。早期に発

見して適切な治療、援助

をすれば聴覚障害による

音声言語発達への影響は

最小限に抑えられる。

検査費用を公費助成す

るかどうかは、各自治体

の判断となっている。

①新生児聴覚検査の結果

の把握方法は。

②新生児の受検率は。

③公費助成の考えは。

④府内での検査体制の整

備状況は。

府内自治体での公費助
成の状況は。

保健センター
小笠原所長

府内施設率 87・8 %

A

①乳児健康検査での保護

者からの聞き取りや母

子手帳の確認で聴覚検

査の状況を把握してい

る。

②平成28年度の受検率は

81・6%。

③現時点では公費助成は

考えていない。

非正規職員の処遇は

Q

地方公共団体の臨時

職員の任用について、総

務省は21年・26年通知で、

年休付与や厚生年金、健

康保険の資格継続につい

て、1日から数日という

短期間の雇用の中断は使

用関係が存続しているも

のとみなすよう繰り返し

留意を求めている。

本町では、同じ臨時職

員を再度採用しても、わ

ずか1日空白期間を置く

ことによって、継続した

雇用と見なさず、改めて

採用されてから半年経過

しないと年休が付与され

ず、何年たっても増えな

い仕組みになっている。

非正規職員の処遇を根

本的に改善すべきでは。

早期発見に努め、支援
が必要な子どもや保護
者に指導、援助を実施
する。

ンケート調査によると
府内の検査可能施設率
は87・8%。
現在、府内で公費助成
している市町村はない。

総務
協本課長

今後も適切に対応

A

本町の非常勤臨時職

員の任用については、地

方公務員法に基づき実施

している。

6ヶ月を超えない期間

で任用を行い、6ヶ月を

るとして運用している。

非常勤職員は町政の円

滑な運営において重要な

役割を担っている。

これまで賃金改定など

処遇改善を行ってきた。

今後も適切に対応する。



中坊 陽 議員

シルバー人材センター設立は

Q 労働意欲のある高齢者団体の立ち上げが必要と考える、これまでもシルバー人材センター設立の必要性を訴えてきた。

検討や研究するとの答弁はあったが、設立されていないため、必要な時は、近隣市町のセンター

- に依頼されている方もいる。
- ① 本町住民のシルバー人材センターへの依頼状況は。
 - ② 地域福祉計画の人材バンクの仕組みづくりとは。
 - ③ シルバー人材センター設立に対する考えは。

**高齢福祉
寺井課長**

設立は非常に困難

- A**
- ① 28年度の実績で、城陽市8件、京田辺市65件、宇治田原町1件。
 - ② 定年退職者などが、福

祉・産業・教育分野のボランティアに登録する仕組みづくりで、例として、介護予防運動リーダー研修会を実施



予定通り進行中の上玉川橋架替工事

上玉川橋改良工事の進捗状況は

し、地域のミニサロン等で活躍していただく人材の育成に努めている。

③ 町の人口規模や就業の確保、地元業者との競合、さらに、実施主体は一般社団法人や一般

財団法人で、会員数100人以上かつ年間就業延べ人数5000人以上が見込めないと国庫補助金が受けられないことから、非常に難しいと考えている。

議会傍聴にお越しく下さい

議会は誰でも傍聴することができます
詳細は議会事務局まで
電話 82-6172

30年 3月定例会の案内(予定)

3月 8日(木)	午前10時～	本会議(招集日)
3月 9日(金)	午前10時～	本会議(再開)
3月 14日(水)	午前10時～	予算特別委員会
3月 15日(木)	午前10時～	予算特別委員会
3月 16日(金)	午前10時～	予算特別委員会
3月 19日(月)	午前10時～	本会議(再開)

予定であり、日程が変更となる場合があります

**建設
中村課長**

平成30年6月に完成予定

Q 上玉川橋改良工事は、住民の方々にも多大な協力をいただいております。工事の進捗状況と完成見通しについて問う。

A 約1年半に及び、車両通行止めにより、迂回や通学路の変更など、地域住民をはじめ多くの方々にご理解とご協力をいただいております。

第1期工事の左岸側の橋台は完成し、現在、右岸側の橋台工事が行われている。

30年6月の完成に向け鋭意努力いただいている。



— 多賀を通った家康の伊賀越え —

現在、山城大橋の西の木津川を渡った所の堤防上に、「草内の渡し」と書かれた石碑が建っています。昔、多賀共同墓地の辺りは多賀浜と呼ばれ木津川の水運には欠くことの出来ない大切な港となっていました。

この浜から東への道路は、JR奈良線の下を通り、北部公民館の南側から府道70号線を横切り東へ通じており、昔から宇治田原へと向かう通称「田原道」と呼ばれていました。

古老の話によると「田原道は、徳川家康さんが伊賀越えされた時に通らったんや」と昔から伝えられています。

なんでも「その時に、安全に道案内をしはった村人が家康さんから御礼に貰わはった家紋が、今もその家の家紋として大事にされている」と伝えられています。

この話は、「徳川家康の伊賀越え」という有名な話で、家康にまつわる数多くの文献に著されています。

近隣の市町では、この伊賀越えの研究が盛んに行われ、町おこしのための冊子やマップが作成されています。

この話は天正10年(1582)6月2日京都の本能寺に宿泊中の織田信長が明智光秀の謀反により亡くなった、いわゆる「本能寺の変」に始まる話で、この時、堺にいた徳川家康(手勢34名)が京都へ向かう途中でこの変報を受け、急遽三河の岡崎城へ帰ることになり、枚方の尊延寺から京田辺市を東へ草内から渡し舟で木津川を渡り、多賀地区の田原道を通り、宇治田原郷之口の山口城へたどり着いたというものです。



家康から賜ったと伝わる家紋

途中、家康の従者となった元武田信玄の家来である穴山梅雪(一行12名)が家康一行に遅れ、木津川の畔で明智光秀の手勢や土民の襲撃を受け、飯岡渡し場付近で殺害されたと言われています。

土地の人々は穴山梅雪の死を憐れんで飯岡の渡しの際に葬り、石塔を築いて供養していたと伝えられています。現在、その石塔は、飯岡共同墓地に移設されています。

「本能寺の変」の後、家康は6月3日10時に郷之口の山口城に入り、昼食後12時に山口城を出発、14時に奥山田の遍照院で休息した旨の資料があります。

出発地の堺から三河の岡崎城までの「徳川家康の伊賀越え」を研究されている人たちや沿線の人達で、「この話をテレビ番組で取り上げられるよう努力しよう」との話が盛り上がっているとのこと。

ふるさとガイドボランティアの会でも、井手町内でこの「家康の伊賀越え」についてご存知の方がおられたら是非とも教えて頂きたいと思っております。

(井手町 ふるさとガイド ボランティアの会)

参考文献:「逃げる家康天下を盗る」 岳 真也 PHP研究所



飯岡共同墓地にある穴山梅雪の墓

編集後記

今年の干支は戌(いぬ)です。犬は人類の飼った最初の動物であるといわれ、約一万年〜三万年前からの付き合いで、極めて強い信頼関係があり、犬はよく人を守り、主人の恩は忘れないと言われています。

犬が安産のお守りや民話の中で幸福や富を主人にもたらしたりすることはよく知られています。さて、戌年の今年、井手町内を舞台に撮影された映画「神さまの轍」が今月一般公開されます。椿坂や眺望のすばらしい万灯呂山展望台など町内各所が登場します。井手町の魅力を全国に伝え、住民の皆様へ幸せを運んでくれるよう願っています。知り合いの方も出演されていますので是非観賞して下さい。(A・N)

議会広報編集委員

委員長	古川 昭義
副委員長	岩田 剛
委員	丸山 久志
委員	中坊 陽
委員	谷田 みさお